



わが進明

〈校訓〉 明るく・正しく・たくましく

URL <https://www.fukui-city.ed.jp/shinmei-j/>



福井市進明中学校
学校たより 第4号
令和6年7月19日

7月4日、5日の「保護者懇談会」では、4月からのお子様の学びを中心に話し合いを実施しました。今後とも、各教科の目標と生徒指導のつながりを意識しながら、教職員と保護者のみなさまと一緒にお子様の成長を願っていきます。4月から比較しますと、各授業と学校行事の成果により、1年生はすっかり中学校生活にも慣れ、2年生は中堅学年としての自覚が芽生え、3年生は常に最高学年のお手本を示すという、素晴らしい状況と落ち着いた学校生活を生徒たちは送っています。

さて、7月21日より夏季休業が始まります。保護者のみなさまにおかれましては、ご家庭におけるお子様の見守りをお願いします。また、保護者が把握したお子様の悩みや変化については、先日「保護者懇談会」で配布した「県内の相談機関などに関する情報」の窓口をぜひご活用ください。

学校では、先日1年生と2年生を対象に、「ネットとの正しいつきあい方教室～ネットトラブルに巻き込まれないために～」 「SNSとインターネットのトラブル防止教室～スマホの安全な使い方～」を実施しました。これからの社会では、ネットのよい面も危険な面も正しく理解して、上手に活用していくことが求められます。①インターネットの危険性を「知る」②安全に利用する環境を「作る」③安全に正しく使う力を「育む」、この3つが大切だと言われています。ネットにひそむ危険から子どもを守るのは、保護者です。インターネットやスマートフォンの利用について、今一度ご家庭でお子様と一緒に考え、よりよい使い方についての話し合いをお願いします。

【青少年インターネット環境整備法 第6条(保護者の責務)一部抜粋】

- ・不適切な利用により犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する。
- ・フィルタリング等の利用により、子どものインターネットの利用を適切に管理する。
- ・子どものインターネット利用状況を適切に把握する。
- ・子どもがインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める。



【1年生:ネットとの正しいつきあい方教室】



【2年生: SNSとインターネットのトラブル防止教室】

さて、令和6年度福井市進明中学校は、学校教育目標を達成するために、「キャリア教育の充実」を重点目標とし、具体的な取組を実践しています。

キャリア教育の充実

—具体的な取組—

- 自分の生き方について考える教育活動 (SHIN化プロジェクト) の系統的な実践
- 縦割り活動 (色別活動・生徒会活動) の充実を通して、次への課題や問いを見つける実践



- 重点目標に対する数値目標—
- ・毎日の授業が充実 (楽しい・発見や気づきがある・わかる) していると回答する生徒 **90%以上**
- ★将来の夢や目指す目標を持っていると回答する生徒 **75%以上**
- ・学校は一人一人を大切に温かく指導していると回答する保護者 **90%以上**

キャリア教育というと、狭義の意味での「進路指導」ではありません。特別活動の学級活動を要としながら、総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科、学校教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていきます。さらに、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることがキャリア教育の視点からも求められ、本校でも、具体的な2つの取組を実践しています。

***カラー版は学校HPに掲載してあります。**

～各学年授業風景(7月)～

1年 国語科

「比喻表現の有無から、説明や想像の仕方の違いが出るのか」を考える授業です。自分たちが使っている語彙の中に「比喻」表現であったという気づきや、検索するキーワードに「身体・身近」など、自分との関わりに注目することができ、生徒の発想が広がった授業でした。



三日月の形を説明する時、どのような説明文章になるのか、比較検証しています。



身の回りにある「比喻の発想」について、考えています。



「頭が切れる」「腹が立つ」は、慣用句なのか。

2年 学級活動

2年生が1年生に「学びを伝える」授業です。縦割り班で、2年生は自分がどのように何を学び、考えているのか、さらに今後はどのように自分は変化していくのかを熱く語り、質疑応答もあり、1年生には学びの深い授業でした。



自分のテキストを見せながら、具体的な学習方法を説明します。



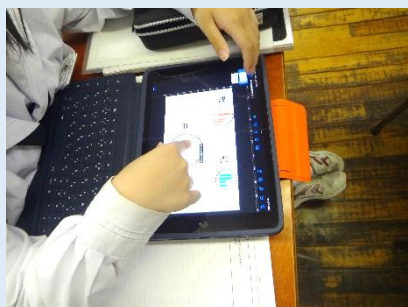
2年生は事前にわかりやすく説明する練習を経て、臨んでいます。



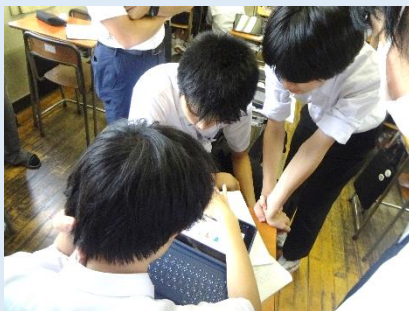
質疑応答が、活発に行われています。

3年 理科

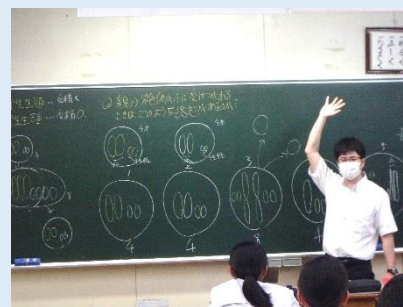
「生殖細胞は、相同染色体をそれぞれ半分(減数分裂)する必要があることを説明できる」という授業です。タブレットやデジタル教科書の活用方法を検証するモデル授業で、他校から多くの参観者がいました。



子の染色体は、どうなるかな？実際にタブレット上で動かしながら、考えています。



子と親の染色体の数が異なるのは、どうなるかな？子が親の2倍はだめなのか？



有性生殖の場合は、生殖細胞を介するから・・・親の細胞は半分ですね。